

2024年度学生による前期授業評価アンケートへの

教員からのコメント

教育制度論/小林 伸行

全般的に評価が高い傾向にあることから、概ね問題はないものと考えられる。実際、「7.テキストや配付資料は講義内容理解の助けになりましたか」や「13.全体として個別で適切な指導がなされましたか」に対する回答が100%「強く思う」になるなど、例年と遜色がないかそれ以上に評価の高い設問も多く見られた。ただし「6.授業の難易度」に「難しかった」と100%（二人中二人）が評価していることや、「14.授業全体についてよく理解できましたか」に対して（50%が「強く思う」と回答している一方で）50%が「そう思わない」と回答していることから、難しいテーマや専門用語などに対する補足説明がまだまだ足りず、必ずしも理解が十分でない場合が生じていたことが示唆される。対策として、噛み砕いた説明や、スライド資料にも補足説明を多めに用意するなどの従前の対策を強化することに加え、後日復習の時間を適宜設けて、段階的な理解や記憶の定着を支援する必要があると考えられる。